

三沢市地域公共交通会議 会議録

会議名称	平成29年度 第1回会議					
開催日時	平成29年5月30日（火） 13時00分～14時30分					
場 所	総合社会福祉センター 2階 ホール1					
出席者	会 長	小渡 章好	委 員	立崎 裕輔	委 員	宮古 直志
	委 員	沼田 巖	委 員	坂本 幸子	委 員	木村 高広
	委 員	鈴木 繁寿(代理)	委 員	蛭名 和也(代理)	委 員	村川 信明(代理)
	委 員	向中野 貢	委 員	山本 剛志	委 員	山本 優
	委 員	高橋 常幸	オブザーバー	白戸 一正		
	事務局	三沢市：村井参事、根岸課長補佐、熊野係長、富田主事、中村主事				
会議次第	1 開 会 2 委員紹介 3 報 告 ・地域公共交通の路線再編等について 4 議 事 (議案第1号) 平成28年度事業報告 (議案第2号) 平成28年度収支決算報告 (議案第3号) 平成29年度事業計画 (案) (議案第4号) 平成29年度収支予算 (案) 5 閉 会					
会議の経過及び審議結果（概要）						
1 開 会 2 委員紹介 3 報 告 ・地域公共交通の路線再編等について (事務局) 平成28年3月に策定した三沢市地域公共交通網形成計画に基づき、今年度実施予定だった路線再編計画を1年遅らせ、平成30年度に実施予定だった運賃体系の見直しと併せて、平成30年度10月に行う意向を説明。 4 議 事 ・議案第1号 事務局より平成28年度事業報告について説明。 ・議案第2号 事務局より平成28年度収支決算報告について説明、監事より監査報告が為された。						

〈質疑等〉

なし

・議案第3号

事務局より平成29年度事業計画（案）について説明。

・議案第4号

事務局より平成29年度収支予算（案）について説明。

〈質疑等〉

なし

<その他意見等>

(向中野委員)

- ・コミュニティバスの運行に関して、行政の負担がどの程度なのか教えてほしい。また、今後とも適宜お示しいただきたい。

(事務局)

- ・運行に係る欠損額、約4,000万円を補助している。

(山本委員)

- ・みーばすデコレーションによる効果はあったのか。

(事務局)

- ・デコレーションバス運行期間中に実施したアンケート調査の結果、今回の取組みでみーばすを“知る（興味を抱く）”きっかけとなったかという質問に対して「はい」が8割、「いいえ」が2割であった。一方で“使う（乗る）”きっかけとなったかという質問には、「はい」が2割、「いいえ」が8割という結果。興味をもってもらうきっかけとはなったが、乗ってもらうためには更なる働きかけが必要であるといえる。
- ・フェイスブック等でもPRを行い、またSNSに載せたいくなるような仕掛けも用意し、情報の拡散を図った。これにより、利用者がどの程度増えたかは把握できていない。

(坂本委員)

- ・市民が参加できるようなものがよい。単に移動手段として活用するだけでなく、キャラクターに乗ってもらうなど、子どもたちが乗りたいくなるような取組みもよいのではないかと。機関車トーマスのバスを走らせたなら、利用者が増えたという事例もある。

(沼田委員)

- ・イベントのターゲットを決めて、それに合わせた形で宣伝する。例えば、航空科学館でやるとして、それに合わせたデコレーションにすれば子どもが乗りたいくなり、結果的に親も乗ることになる。

(小渡会長)

- ・八戸のあるタクシー会社ではサンタクロースの衣装でアメを渡したところ、大変喜ばれたと聞いている。事業者も工夫することで公共交通の印象が変わる。

(立崎委員)

- ・高齢者の免許返納問題やドア to ドアなど、タクシーの需要や利便性がクローズアップされており、公共交通体系を考えるうえでも重要な役割を担っていると考ええる。
- ・タクシーのサービスのあり方も変わりつつあり、タクシードライバーが観光案内を行ったりする事例もある。

(向中野委員)

- ・網形成計画において、バスの役割が主となっているため、タクシーにもできることはないかと考えていた。
- ・免許返納に関しても、病気など何かあってからでないと返納しないのが現状。バスもタクシーも利用者はわずかである。

(坂本委員)

- ・免許返納を考えるうえで、タクシーの割引があれば利用しやすい。

(向中野委員)

- ・免許返納者に対して割引券を渡している自治体もあるが、1年程度しかもたないだろう。

(小渡会長)

- ・バスについてもタクシーについても、利用者が多かったときの基盤で考えるのではなく、基盤が変わっているのであれば、新しい発想を取り入れる必要がある。
- ・様々な制限もあると思うが、「これならできる」などの意見を出し合って、現在の地域に合った公共交通体系を考えていきたい。

(木村委員)

- ・現在公共交通を使っていない人に使ってもらう方法として、乗合タクシーという手段もある。

(向中野委員)

- ・三沢市の事業者は乗合の免許をもっている。

(宮古委員)

- ・以前の新聞に、十和田市が乗合タクシーの補助事業を継続する旨の記事が載っていた。

(鈴木代理委員)

- ・再編計画の実施時期はいつか。認可とかの関係で遅れたりしないのか。
- ・再編の対象は、市内だけか。それとも、他の市町村を走る路線も含まれるのか。

(事務局)

- ・網形成計画では、路線再編は平成29年度実施、運賃体系は平成30年度としているが、同時に進めていく方向で路線再編を1年遅らせる形となった。来年3月に検討結果を出した場合、実際に運行開始するのが来年10月となる予定。
- ・再編の対象は、市内のバスのみを検討している。

(小渡会長)

- ・本日出た新しい視点や意見を事務局には持ち帰っていただき、タクシーを含めた公共交通全体が、現在そして未来の市民のための質の高い移動手段となるように検討を深めていきたい。

(木村委員)

- ・国土交通省東北運輸支局における交通・観光主要施策について説明。

5 閉 会

以 上